

平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月9日

上場会社名 中央化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7895 URL <http://www.chuo-kagaku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 水野 和也
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 経営企画部長 (氏名) 遠藤 勇一 TEL 048-540-2820
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	45,852	△2.0	571	△43.2	270	△60.7	82	△84.4
28年3月期第3四半期	46,766	△2.1	1,005	—	689	—	527	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 184百万円(△64.4%) 28年3月期第3四半期 518百万円(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	4.07	—
28年3月期第3四半期	26.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	48,221	8,687	18.0
28年3月期	44,740	8,502	19.0

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 8,687百万円 28年3月期 8,502百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00
29年3月期	—	0 00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	1.0	400	△50.0	100	△83.4	△200	—	△9.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	21,040,000株	28年3月期	21,040,000株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	891,140株	28年3月期	891,140株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	20,148,860株	28年3月期3Q	20,148,930株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、当四半期半ばより米国大統領選挙結果の影響による急速な円安の進行、産油国の減産合意に起因する原油価格の上昇等、外部環境が大きく変化する中、持ち直しつつある個人消費等の内需に支えられ、引き続き景気はゆるやかな回復基調が続いています。金融政策は引き続き緩和方針が継続されており、円安の影響ならびに景気回復の期待感も相俟って、株価は好調な動きとなりました。

一方、食品包装容器市場と極めて関連性の深い食料品販売動向におきましては、百貨店、食品スーパーの売上げが伸び悩む中、コンビニ業態の好調により緩やかな回復傾向にあります。また、10～12月における当社の原材料調達価格は、円安の進行、原油価格の強含みの影響で当四半期後半は上昇傾向を強めつつあり第4四半期以降の調達コストの増大が懸念されます。

このような環境下、当社国内事業においては、先般より発売開始しているPETトレイ協議会の自主基準に適合するリサイクルPET製品としての新たな環境配慮型新製品「CHUO A-PET GREEN」（製品名略称C-APG）など、ユーザー様と環境対応・資源の有効活用意識を共有し、その解決に取り組んだことによる製品の売上げが拡大いたしております。

また、サラダ容器をはじめ、鮮魚容器や惣菜容器等で新製品を上市しユーザー様に更に幅広く提案できる体制を整え、年末・クリスマス商戦に取り組みました。

一方、今後想定される原材料価格上昇に備え、製品用ダンボール等資材の標準化を図ることにより、引き続きコストダウンに向けた取り組みを行ってまいりました。

また、中国事業におきましては、経済成長減速傾向等の懸念要素はあるものの、食品容器関連市場は、引き続き堅調な推移を続けております。

その状況の下、中国現地メーカーにおいては価格競争力を維持しつつ技術の向上も見られるなか、食品容器関連市場は激戦となっておりますが、独自の素材を持ち、安心・安全な弊社グループ製品に対するハイエンド市場からのニーズは依然根強い状況にあります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上が45,852百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益571百万円（前年同期比43.2%減）、経常損益は、為替相場の変動により為替差損129百万円を営業外費用に計上したことなどもあり経常利益270百万円（前年同期比60.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は82百万円（前年同期比84.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産は、受取手形及び売掛金の増加2,792百万円、リース資産の増加468百万円等により、前連結会計年度末に比べ3,481百万円増加し48,221百万円となりました。

(負債)

負債は、支払手形及び買掛金の増加1,246百万円、短期借入金の増加1,000百万円、リース債務の増加504百万円等により、前連結会計年度末に比べ3,296百万円増加し39,534百万円となりました。

(純資産)

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益82百万円等により、前連結会計年度末に比べ184百万円増加し8,687百万円となり、自己資本比率は18.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、4,026百万円となり前連結会計年度末に比べ179百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加2,897百万円等があった一方、減価償却費2,177百万円、仕入債務の増加1,360百万円等があり、1,817百万円(前年同期比1,443百万円の減)の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得1,306百万円等があり、1,571百万円(前年同期比803百万円の増)の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金による収入1,450百万円等があった一方、長期借入金の返済1,641百万円等により、363百万円(前年同期比2,339百万円の減)の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年5月10日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成29年2月9日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,211	4,038
受取手形及び売掛金	9,229	12,021
商品及び製品	5,482	5,246
仕掛品	716	849
原材料及び貯蔵品	1,257	1,272
繰延税金資産	207	197
その他	2,367	2,759
貸倒引当金	△25	△22
流動資産合計	23,446	26,362
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,472	6,410
機械装置及び運搬具(純額)	3,629	3,462
土地	4,563	4,563
リース資産(純額)	4,173	4,642
建設仮勘定	552	397
その他(純額)	775	830
有形固定資産合計	20,167	20,307
無形固定資産		
リース資産	50	42
その他	541	971
無形固定資産合計	591	1,014
投資その他の資産		
投資有価証券	269	262
長期貸付金	181	161
破産更生債権等	41	41
繰延税金資産	82	71
その他	190	235
貸倒引当金	△229	△235
投資その他の資産合計	535	537
固定資産合計	21,294	21,858
資産合計	44,740	48,221

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,718	11,964
短期借入金	4,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	2,021	2,224
リース債務	1,378	1,493
未払金	2,601	2,963
未払法人税等	122	110
未払消費税等	76	295
賞与引当金	118	119
海外事業等再編引当金	32	32
資産除去債務	11	11
その他	1,188	1,484
流動負債合計	22,269	25,699
固定負債		
長期借入金	9,175	8,780
リース債務	3,130	3,520
役員退職慰労引当金	34	42
債務保証損失引当金	24	13
退職給付に係る負債	1,381	1,269
資産除去債務	8	8
その他	214	201
固定負債合計	13,968	13,835
負債合計	36,237	39,534
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,212	6,212
資本剰余金	5,787	5,787
利益剰余金	△2,142	△2,060
自己株式	△1,169	△1,169
株主資本合計	8,688	8,770
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39	46
繰延ヘッジ損益	△26	3
為替換算調整勘定	696	620
退職給付に係る調整累計額	△895	△754
その他の包括利益累計額合計	△185	△83
純資産合計	8,502	8,687
負債純資産合計	44,740	48,221

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	46,766	45,852
売上原価	35,816	34,774
売上総利益	10,949	11,077
販売費及び一般管理費	9,944	10,506
営業利益	1,005	571
営業外収益		
受取利息	10	12
受取配当金	11	11
受取賃貸料	38	36
補助金収入	—	10
その他	110	145
営業外収益合計	171	215
営業外費用		
支払利息	169	181
売上割引	39	37
為替差損	214	129
持分法による投資損失	—	93
その他	63	72
営業外費用合計	487	516
経常利益	689	270
特別利益		
固定資産売却益	—	2
投資有価証券売却益	27	—
収用補償金	34	—
特別利益合計	61	2
特別損失		
固定資産除売却損	96	29
減損損失	—	18
災害損失	35	26
特別損失合計	132	73
税金等調整前四半期純利益	618	199
法人税、住民税及び事業税	98	110
法人税等調整額	△7	7
法人税等合計	90	117
四半期純利益	527	82
親会社株主に帰属する四半期純利益	527	82

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	527	82
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	6
繰延ヘッジ損益	△13	30
為替換算調整勘定	△115	△75
退職給付に係る調整額	104	141
その他の包括利益合計	△9	102
四半期包括利益	518	184
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	518	184

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	618	199
減価償却費	2,127	2,177
減損損失	—	18
持分法による投資損益 (△は益)	—	93
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△11
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	13	3
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△77	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8	28
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6	8
受取利息及び受取配当金	△22	△23
支払利息	169	181
為替差損益 (△は益)	95	115
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△27	—
有形固定資産除却損	83	29
有形固定資産売却損益 (△は益)	13	△2
収用補償金	△34	—
役員退職慰労金	1	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,969	△2,897
たな卸資産の増減額 (△は増加)	900	29
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,487	1,360
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△275	220
その他	324	560
小計	3,443	2,095
利息及び配当金の受取額	22	23
利息の支払額	△166	△192
役員退職慰労金の支払額	△1	—
収用補償金の受取額	34	—
法人税等の支払額	△71	△108
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,260	1,817
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△808	△1,306
固定資産の売却による収入	7	2
定期預金の預入による支出	△18	△18
定期預金の払戻による収入	12	12
投資有価証券の取得による支出	△9	△8
投資有価証券の売却による収入	114	—
貸付けによる支出	—	△225
貸付金の回収による収入	—	25
その他	△66	△53
投資活動によるキャッシュ・フロー	△767	△1,571
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△500	1,000
長期借入れによる収入	150	1,450
長期借入金の返済による支出	△1,219	△1,641
リース債務の返済による支出	△1,134	△1,171
自己株式の取得による支出	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,703	△363
現金及び現金同等物に係る換算差額	△63	△61
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△274	△179
現金及び現金同等物の期首残高	3,183	4,205
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,908	4,026

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	41,227	5,538	46,766	—	46,766
セグメント間の内部売上高 又は振替高	75	1,184	1,259	△1,259	—
計	41,303	6,722	48,025	△1,259	46,766
セグメント利益	1,183	239	1,422	△417	1,005

(注) 1. セグメント利益の調整額△417百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	40,849	5,002	45,852	—	45,852
セグメント間の内部売上高 又は振替高	67	866	933	△933	—
計	40,916	5,868	46,785	△933	45,852
セグメント利益	870	98	968	△396	571

(注) 1. セグメント利益の調整額△396百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。